

2026.07.31

アストンマーティン ジャパン



アストンマーティン Valkyrie、

IMSA 2026 年シーズン終盤戦のロード・アメリカに帰還

- アストンマーティン Valkyrie、IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権のロード・アメリカ戦で上位入賞を目指す
- FIA 世界耐久選手権サンパウロ 6 時間レースで 2 台そろって初のポイント獲得を果たし、アストンマーティン THOR チームは再び IMSA に照準
- Valkyrie は 2026 年、世界最高峰スポーツカーシリーズである IMSA と FIA 世界耐久選手権の両方に参戦する唯一のハイパーカー
- 5 度のトップ 10 フィニッシュを果たしたロス・ガンとロマン・デ・アンジェリス、IMSA ミシュラン・エンデュランス・カップ最終戦前の一戦でさらなる前進を狙う



2026 年 7 月 29 日、ワトキンス・グレン（米国）：

2026 年 IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権（IMSA）が最終盤を迎え、GTP クラスのレースが残すところ 3 戦となる中、アストンマーティンの驚異的な性能を誇るハイパーカー Valkyrie が今週末の 7 月 31 日から 8 月 2 日、由緒ある全長 4 マイルのロード・アメリカに戻ります。

今月初めにブラジルで開催されたサンパウロ 6 時間レースで **Valkyrie** が 2 台とも FIA 世界耐久選手権における初のポイント獲得を果たす好調な結果を受け、アストンマーティン **THOR** チームは北米最高峰のスポーツカー選手権である **IMSA** でも上位進出を目指し、今シーズン通して見せてきたポテンシャルを改めて証明することを狙います。

全 11 戦で争われる **IMSA** の第 8 戦、モジュール・スポーツカー・エンデュランス・グランプリは、今年から新フォーマットで開催されます。**IMSA** 近代史上初めて、エルクハート・レイク近郊で開催されるこのレースは、1950 年代に公道で争われていた当時にならい、6 時間レースとして実施されます。このため、通常の **IMSA** シーズンの 1 戦に数えられるだけでなく、10 月 3 日にロード・アトランタで開催されるモジュール・プチ・ル・マンでシーズンフィナーレを迎える **IMSA** ミシュラン・エンデュランス・カップ（**IMEC**）の最終戦前の一戦としても位置付けられます。

IMEC は、通常の **IMSA** シーズンで開催される 6 時間以上の長距離レース 5 戦で構成されます。

アストンマーティンのワークスチーム **THOR** によって展開されている **Valkyrie** の米国での戦いは、2025 年のデビューシーズンに比べて大きなパフォーマンス向上を遂げています。英国のウルトラ・ラグジュアリー・ハイパフォーマンス・ブランド、アストンマーティンの **Valkyrie** は、これまでの 6 戦（レースカレンダーのうち 2 戦は **GTP** カテゴリーなし）のうち 5 戦でトップ 10 入りを果たし、ウェザーテック・レースウェイ・ラグナ・セカ（カリフォルニア）では 8 位、同サーキットでは予選 6 位を獲得しています。2025 年にセブリングで競技デビューを果たして以来、**Valkyrie** は 15 戦のうち 12 戦でトップ 10 フィニッシュを記録しています。

2025 年の **Valkyrie** のロード・アメリカ初出場の際には、ロマン・デ・アンジェリス（カナダ）とロス・ガン（英国）が当時の最高成績となる 6 位でフィニッシュしています。両ドライバーともロード・アメリカの経験は豊富で、ガンは同サーキットで過去にアストンマーティン **Vantage** で **GTD Pro** クラス優勝を果たし、デ・アンジェリスも他の **GT** シリーズでも、**Vantage** でロード・アメリカ優勝を果たしています。

アストンマーティン初の「ル・マン・ハイパーカー」（**LMH**）となる **Valkyrie** は、**IMSA** 最上位の **GTP** クラスで唯一、公道仕様のハイパーカーがベースです。**Valkyrie** は **IMSA** に出場する最初の **LMH** であると同時に、**IMSA** と **FIA** 世界耐久選手権（**WEC**）の両シリーズに参戦する唯一の **LMH** でもあります。

レース仕様の **Valkyrie** は、アストンマーティンと **THOR** により市販車をベースに開発され、レース用に最適化したカーボンファイバー製のシャシーに改良を施した 6.5 リッター **V12** エンジ

ンを搭載しています。標準仕様のエンジンは最高回転数 11,000rpm、最大出力は 1,000PS を超えますが、ハイパーカーのレギュレーションに従い、出力は厳密に 500kW（680PS）に抑えられます。

ロス・ガン、アストンマーティン Valkyrie 23 号車ドライバー：「ロード・アメリカに戻ると自然と笑顔になります。今年は耐久レースとなるので特に楽しみです。昨年のロード・アメリカは Valkyrie が米国で初めて大きな進歩を示したレースでした。今年もその再現を目指したいと強く思っています。前回から少し間が空きましたが、再びマシンに乗り込み、チームと一緒に戦えることを心待ちにしています」

ロマン・デ・アンジェリス、アストンマーティン Valkyrie 23 号車ドライバー：「IMSA シリーズの耐久レースとしての初開催となるロード・アメリカに戻ることを非常に楽しみにしています。特に好きなサーキットです。昨年のロード・アメリカは強力なマシンで戦えたと感じているので、良い結果を目指して戦えることを楽しみにしています」

イアン・ジェームズ、アストンマーティン THOR チーム代表：「今年のロード・アメリカに前向きな材料は数多くあります。当然ながら昨年よりチームとしての結束も深まりました。マシンについても、グループとしてどのようにパフォーマンスを引き出すかについてもはるかに多くの知識を持っています。昨年、ここでは他のサーキット以上に Valkyrie の速さを発揮できました。そして、その後さらにパフォーマンスは向上しています。また、6 時間レースということで、活用できる戦略的なチャンスも多くなります。とはいうものの、その好機を活用するには目標を遂行し、不要なミスを排除して、好機が週末のどこで訪れたときにも落ち着いて迷わず行動できればなりません。いつものように、今回もそこに集中して取り組んでいきます」

アダム・カーター、アストンマーティン耐久モータースポーツ責任者：「Valkyrie と、それがどのようにパフォーマンスを生み出すのかに関する私たちの理解は、レースごとに増えています。IMSA のレースには独特な性格があるため、パフォーマンスのどの要素が重要になるかはさまざまです。データ、レース経験、マシンのセットアップと開発という面では、私たちはライバルたちに比べるとまだ経験の浅い立場です。ですが、昨年の今頃よりははるかに経験を積んでいますし、ロード・アメリカは Valkyrie と相性の良いサーキットであることがわかっています。チーム内に成功への強い意志があるので、Valkyrie で今シーズンのこれまで以上に好調な結果が出せると確信しています。これらすべてを念頭に、今週末ロード・アメリカでどのような走りを見せられるのか、楽しみにしています」



チャンピオンシップ首位を走る Vantage、 激しさ増すタイトル争いの中、勝利を目指しロード・アメリカへ

- The Heart of Racing チーム、モチュール・スポーツカー・エンデュランス・グランプリで IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権の GTD タイトル争いを再開
- THOR のドゥドゥ・バリチェロ、GTD クラスのドライバーズランキング首位
- アストンマーティンのワークスドライバー、トム・ギャンプルとザカリー・ロビションが THOR のラインアップを完成 Car Blanche、ワトキンス・グレンでのデビュー戦表彰台以来、今週末 GTD クラスに復帰
- Car Blanche はアストンマーティンのワークスドライバーであるヴァランタン・アスクローをはじめ、トレントン・エステップ、マリウス・フォサールの布陣で臨みます

ウルトラ・ラグジュアリー・ハイパフォーマンス・ブランドであるアストンマーティンの最も成功を収めているレーシングカー Vantage GT3 が IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権 (IMSA) GTD クラスのチャンピオンシップ首位争いを繰り広げる中、アストンマーティンは由緒あるロード・アメリカで GTD クラス優勝を目指して戦います。

IMSA の 2026 年の日程が残り 4 戦となった時点で、アストンマーティンは GTD マニファクチャラズランキングで首位に立ち、パートナーチームの The Heart of Racing (THOR) もチームランキング首位に立っています。THOR のドライバー、ドゥドゥ・バリチェロ (ブラジル) は、シーズン 2 戦目からドライバーズランキング首位を走り続けています。

IMSA の 6 戦中 4 度も GTD クラスのポールポジションを獲得している Vantage GT3 は、ウルトラ・ラグジュアリーなロードカーの Vantage と同じ基本設計を採用し、アストンマーティンの実績ある接合アルミニウム製シャシーをベースに、強力な 4.0 リッター V8 ツインターボエンジンを搭載しています。

その 4 つのポールポジションのうち 2 つを獲得したバリチェロは、ザカリー・ロビション (カナダ) とアストンマーティンのワークスドライバーのトム・ギャンプル (英国) とともに参戦します。この 3 名は、シーズン開幕戦のロレックス・デイトナ 24 時間レースで 3 位、セブリング 12 時間レースで 2 位に入りました。これらの成績によって、3 名のドライバーに加え、THOR とアストンマーティンも、IMSA の 6 時間以上の長距離レースで争われる、IMSA ミシ

ュラン・エンデュランス・カップ（IMEC）の GTD クラスのポイントスタンディングで 2 位につけています。

新チーム YRB Racing も、3 度目の IMSA 参戦で GTD クラスに復帰します。前戦のカナディアンタイヤ・モスポート・パークでは GTD Pro クラス初参戦で 6 位に入りました。Car Blanche として出場する 068 号車 Vantage GT3 には、アストンマーティンのワークスドライバーのヴァランタン・アス・クロー（フランス）、2026 年 AMR ドライバー・アカデミーのメンバー、マリウス・フォサル（フランス）、そしてトレントン・エステップ（米国）と、ワトキンス・グレンでのデビュー戦を 3 位で終えた 3 名が、再びラインアップを組みます。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者であるアダム・カーターは次のように述べています。「The Heart of Racing チームは IMSA の 2026 年シーズンを通してずっと高い競争力を示してきました。今シーズン、すでに少なくとも一度は表彰台の最上段に立っていてもおかしくはないパフォーマンスを見せています。ひょっとすると、ロード・アメリカがその機会となるかもしれません。以前チームが優勝したことのあるサーキットで、これまでと同等以上の競争力を発揮できない理由はありません。Car Blanche は IMSA 参戦で好スタートを切りました。チームの健闘を称えると同時に、今週末にロード・アメリカの GTD クラスでどのような結果を残せるのかを楽しみにしています」

視聴方法

モチュール・スポーツカー・エンデュランス・グランプリは 2026 年 8 月 2 日（日）の現地時間 10:40（英国夏時間 16:40／BST）に開始されます。IMSA TV と IMSA YouTube チャンネルで生中継されるほか、各国の指定放送局でも生中継されます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-pXEnKoWZkCB87Vac>

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって 1913 年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、

DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは「ブレンドドライブトレインアプローチ」による内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp